

問題用紙

平成 29 年度（2017 年度）

東北大学大学院工学研究科
都市・建築学専攻

博士課程前期 2 年の課程
推薦入学特別選抜試験

小論文試験

注意事項

- ・ 開始の合図があるまで表紙をめくらないで下さい。
- ・ 「問題用紙」が表紙を除いて 1 枚、「資料」が 8 枚、「答案用紙」が 6 枚、「下書用紙」が 3 枚あります。
- ・ 「答案用紙」は 6 枚のうち 4 枚を提出して下さい。提出する 4 枚全ての「答案用紙」に受験番号と通し番号を記入して下さい。
- ・ 「問題用紙」、「答案用紙」の余りは持ち帰ることができます。
- ・ 「資料」、「下書用紙」は試験終了後回収します。持ち帰ることはできません。
- ・ 口頭試問（面接）では、小論文の内容を 5 分程度で発表してもらいます。そのさい、「答案用紙」を見ることはできませんが、別途メモを持ち込んでも構いません。

問題

山形県旧県会議事堂（山形県山形市・重要文化財）は、煉瓦造・建築面積 866.4㎡・一部二階建・スレート葺の歴史的建造物で、コンドルの弟子にあたる田原新之助による設計、中條精一郎による顧問のもと、大正 5（1916）年に造営された。大正初期創建となる数少ない煉瓦造公共建築のひとつである。

平成 2（1990）年に完了した復原的修理において、建造物の価値を保存・再生するためのさまざまな建築学的方法が実施された。この修理に関する図を読解し、以下の設問に対して 400 字詰め解答用原稿用紙 2.5～4 枚を用いて答えよ。

1. 修理の内容と意義について、修理前の建造物にみる課題のほか、その課題を解決した計画理念や工学技術に焦点を当て説明しなさい。

2. この修理に対してあなたが考えた代替計画案や工学技術などについて、歴史・意匠・計画・構造・材料・環境設備など自由に論点を定め、その考えに及んだ理由やコンセプトとともに、歴史的建造物の保存・再生にみる課題や理想をふまえながら論述しなさい。

資料

図一覧

図1：復原・修理後 山形県旧県会議事堂 正面

図2：山形県旧県会議事堂 地図

図3：復原・修理後 議場 南中央入口より見る

図4：昭和5年以前 玉上家資料 写真 議場内部詳細

図5：修理前 東背側面

図6：復原・修理後 議場棟東面

図7：復原・修理後バットレス断面図

図8：バットレス意匠各種案

図9：復原・修理後 バットレス詳細図

図10：その他の議場補強案

図11：ファンコイルユニット

図12：換気フロー概念図（復原・修理後）

図13：議場断面図

図14：修理前 一階平面図

図15：復原・修理後 一階平面図

出典——図2:『Google マップ』(<https://www.google.co.jp/maps/>)、図13:木村勉「建造物 山形県旧県会議事堂 (最近の文化財修理<特集>)」(『佛教藝術』(195),1991)、上記以外の図:『重要文化財山形県旧県庁舎及び県会議事堂保存修理工事報告書』(山形県、1991)

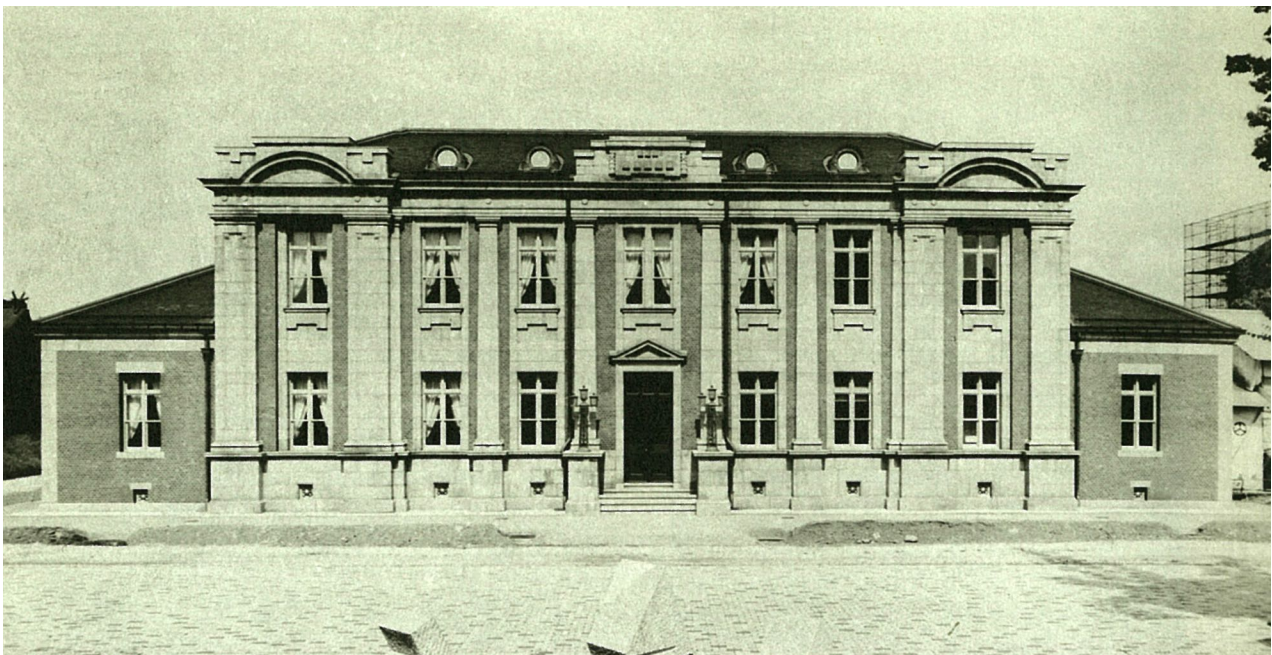


図1：復原・修理後 山形県旧県会議事堂 正面

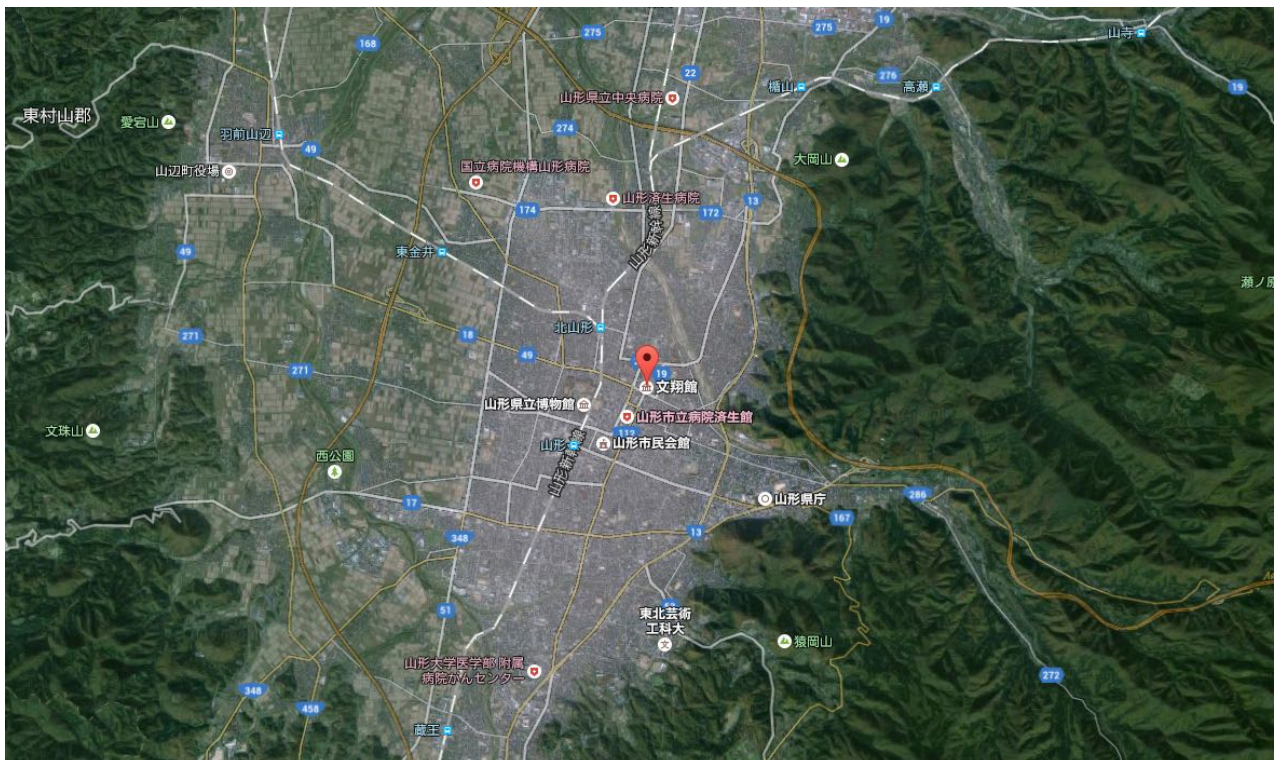


図2：山形県旧県会議事堂 地図 (文翔館＝旧県庁舎及び県会議事堂)



図3：復原・修理後 議場 南中央入口より見る



図4：昭和5年以前 玉上家資料 写真 議場内部詳細

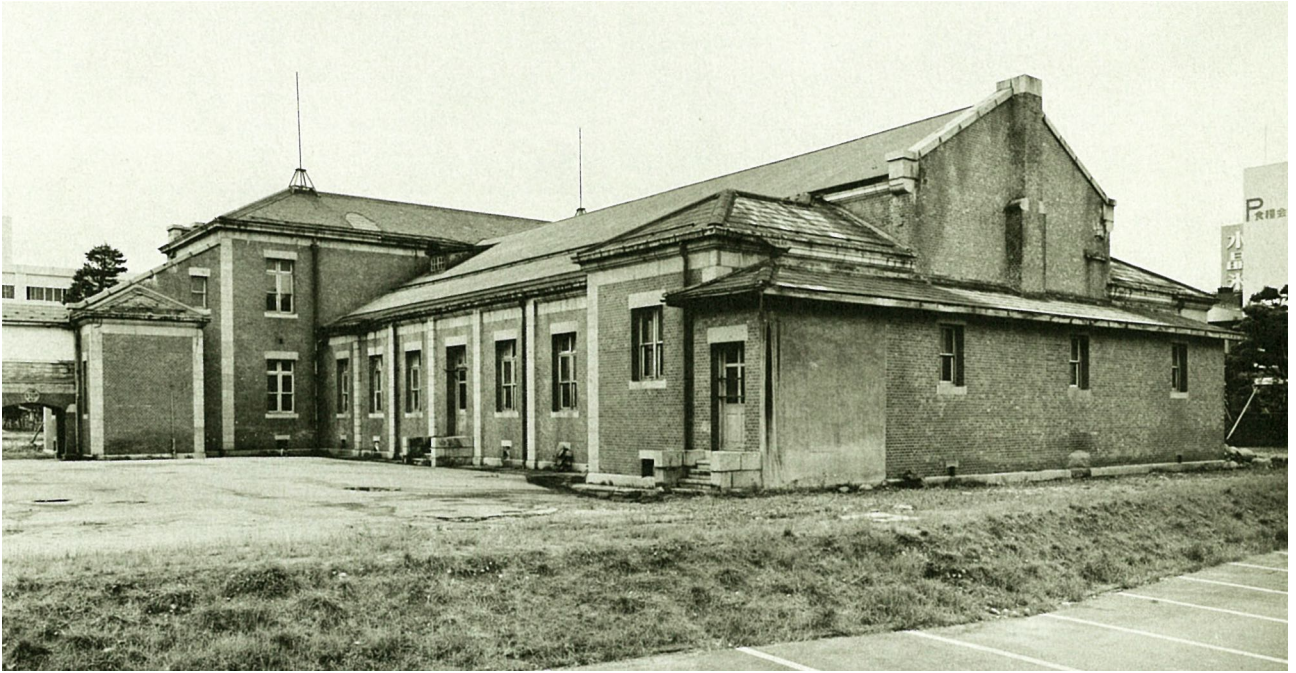


図5：修理前 東背側面



図6：復原・修理後 議場棟東面

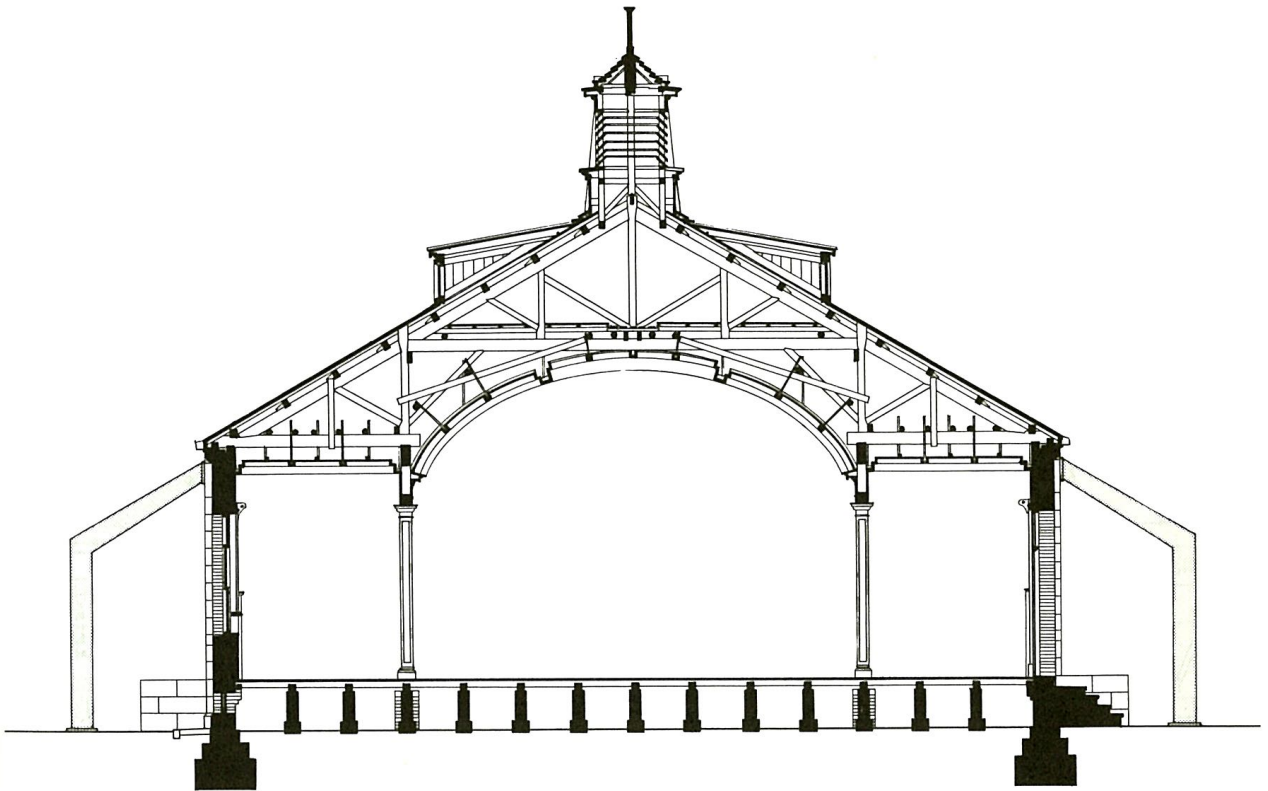
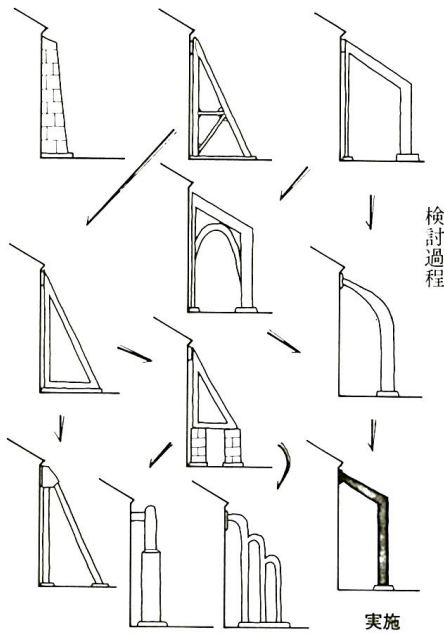
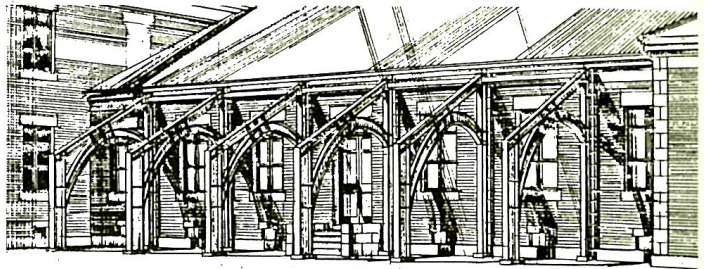


図7：復原・修理後 バットレス断面図



鉄骨控柱(曲線付)案



R C控壁案

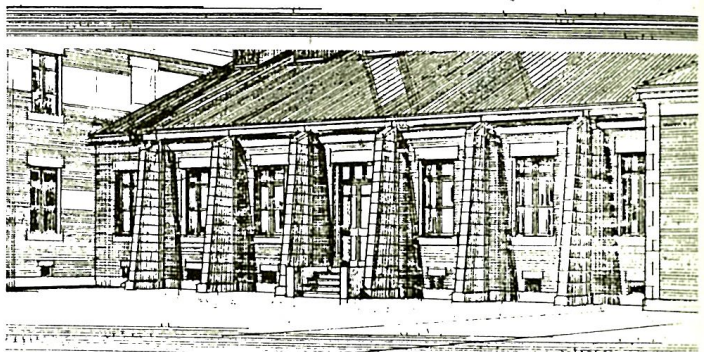


図8：バットレス意匠各種案

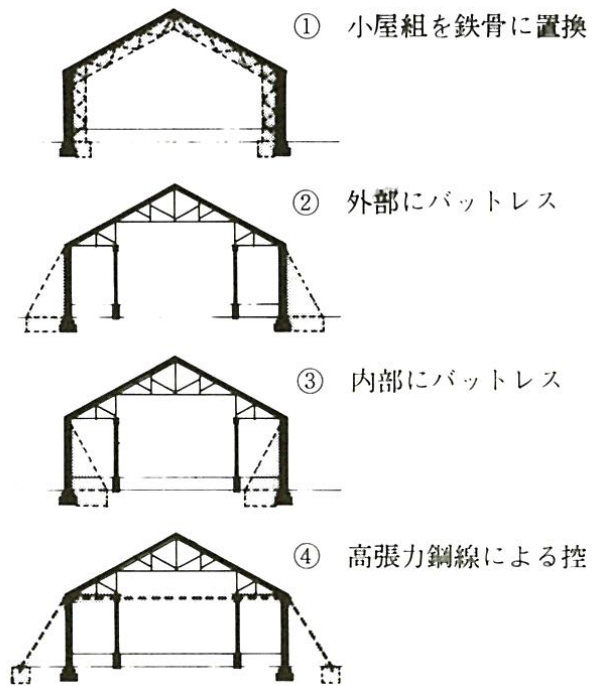


図 10：その他の議場補強案

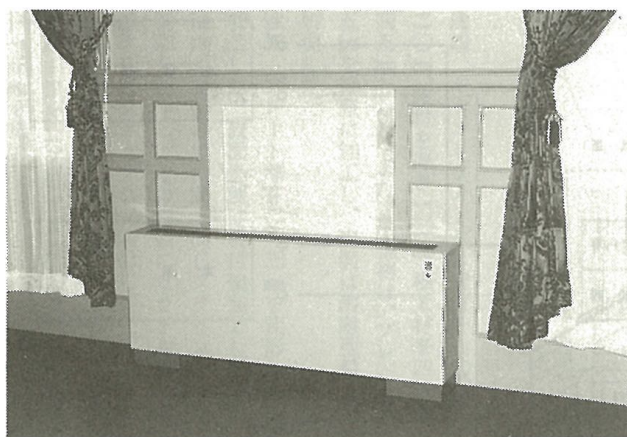


図 11：ファンコイルユニット

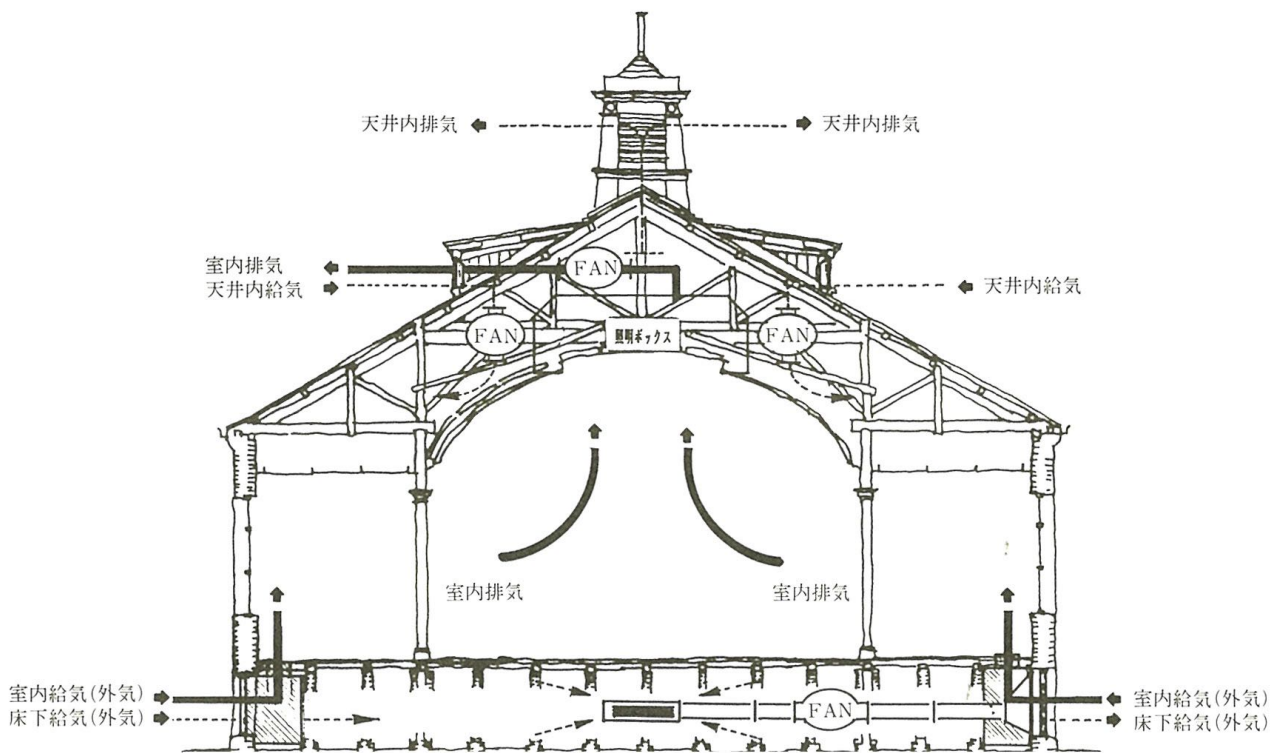


図 12：換気フロー概念図（復原・修理後）

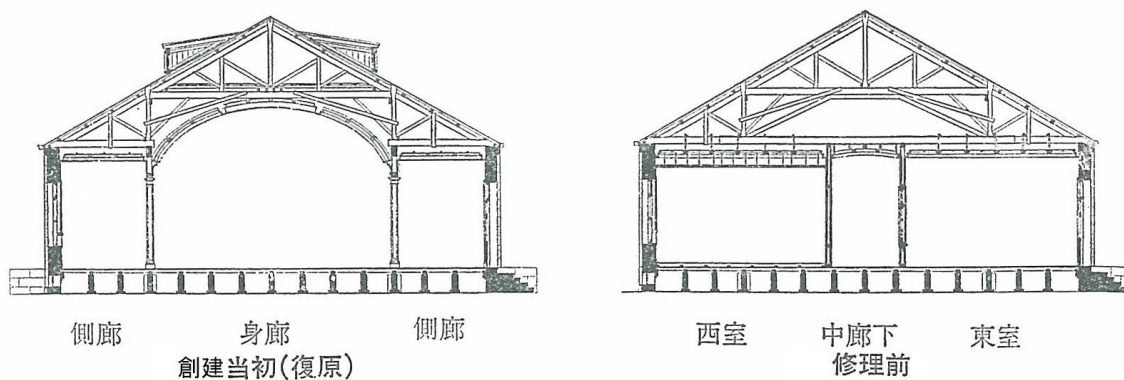


図 13：議場断面図

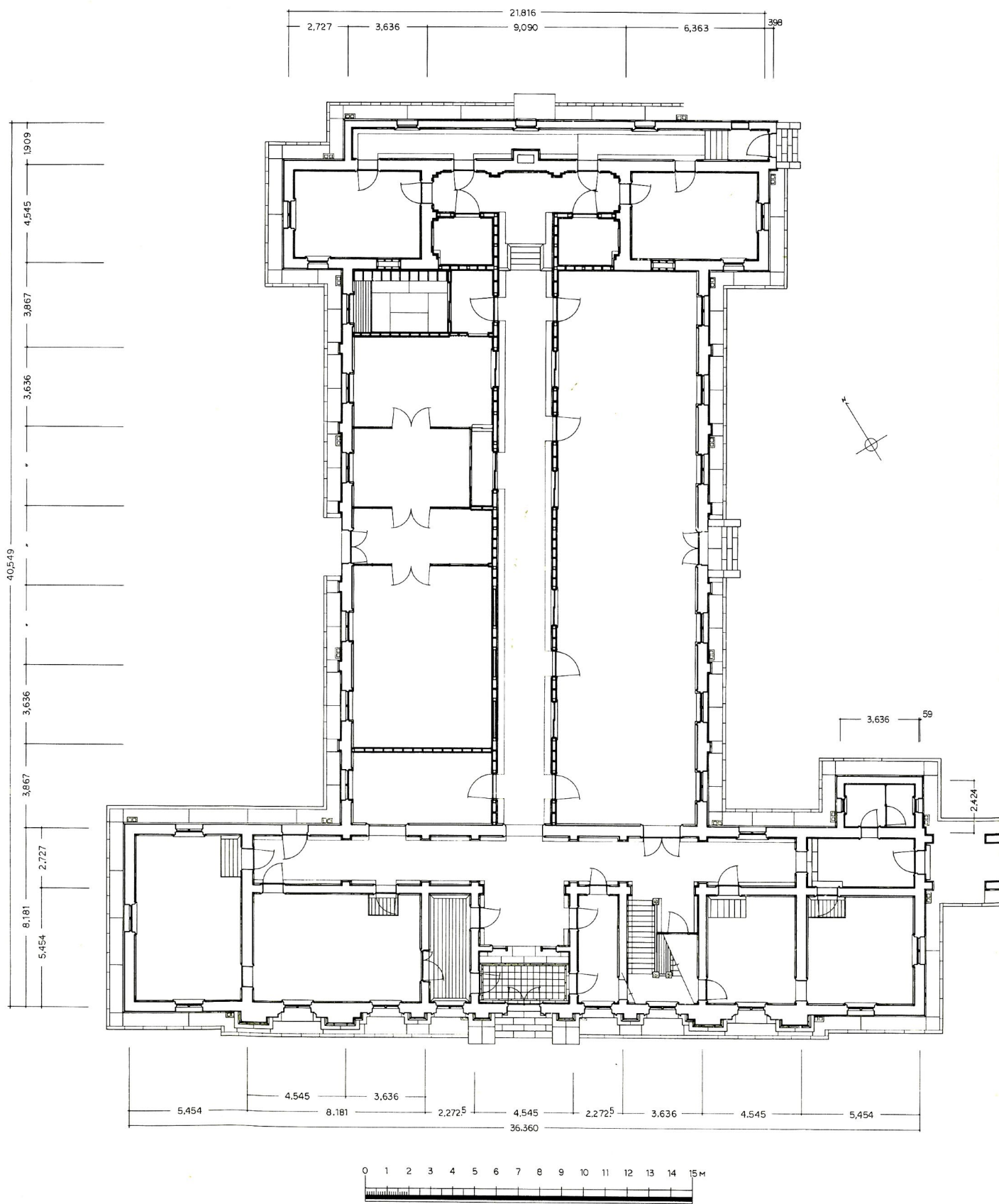


图 14：修理前 一階平面図

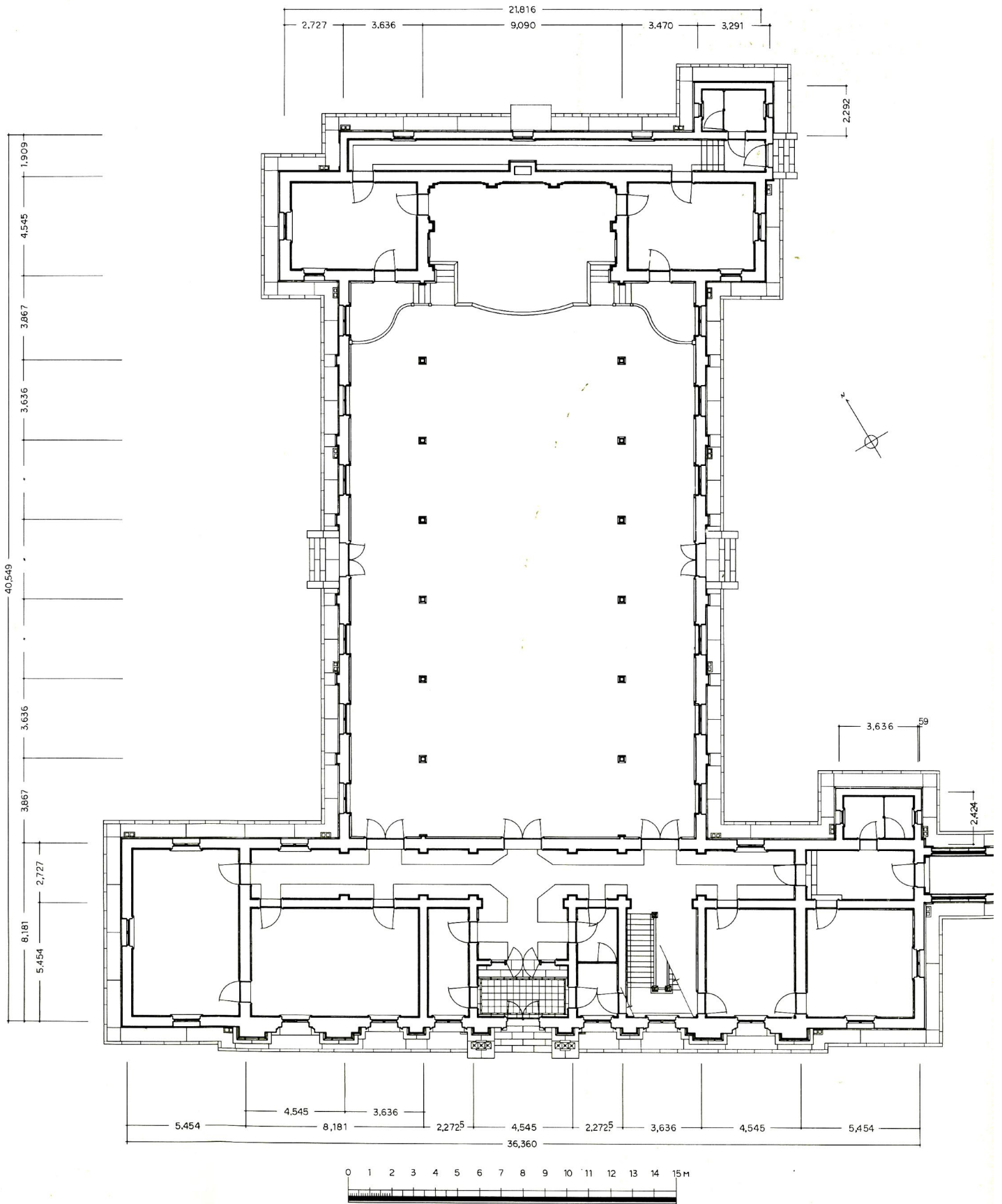


図 15：復原・修理後 一階平面図